

●技術トピックス

～輸送時の水分の漏れ出し防止技術～

簡易設置型遮水トレイ(荷台一体型)

除去土壌等の輸送時の水分漏れ出し防止対策として、新たに遮水トレイを開発しました。様々な大型土のう袋の形状、荷台形状に対応した構造で、軽くて折り畳みが可能なため、設置・撤去作業が容易なことが特徴です。



折りたたみ時 組立時 積込状況

～大型土のう袋荷下ろしの省力化～

大型土のう専用積載機、フレコンハンドラー、7袋同時吊具

7袋同時吊具を新たに開発し、輸送車両からの大型土のう袋荷下ろし時間を大幅に短縮しました。また、大型土のう袋は内容物により大きさ・硬さが様々なため、大型土のう専用積載機用のアタッチメント(フレコンハンドラー)を新たに開発し、迅速な移動が可能となりました。



7袋同時吊具 フレコンハンドラー 大型土のう専用積載機

～施設内の清掃を無人化し、作業員の被ばく量を1/5に低減～

自立型清掃ロボット

周囲の空間的な状況を判断するセンサーを搭載した自立型清掃ロボットが、区画された作業エリアを自ら判断して清掃を行います。作業員による清掃時間を短縮し、作業員の被ばく量を5分の1に低減しました。



線量計を搭載しており、作業空間の被ばく線量がリアルタイムで確認できるようにしています。

【特許・開発について】

2019年12月時点で、受入・分別処理工事、土壌貯蔵施設工事、輸送工事について、7件の特許を出願済

私たちが福島復興をお手伝いします！

本工事には、全国から集まった1,000人近くの方々が毎日作業に従事しています。一日も早い福島の復興のために頑張っています！



平成29年度中間貯蔵(双葉2工区)土壌貯蔵施設等工事



受入・分別施設(外観)

受入・分別施設(内部)



土壌貯蔵施設



お問い合わせ先

平成29年度中間貯蔵(双葉2工区)土壌貯蔵施設等工事
 大成・日本国土・佐藤工業特定建設工事共同企業体
 〒979-1513 福島県 双葉郡 浪江町 大字幾世橋 字齊藤屋敷58-1
 TEL 0240-23-5101(代表) FAX 0240-23-5103

2020.1 第3版



大成・日本国土・佐藤工業特定建設工事共同企業体

はじめに

中間貯蔵施設は、福島県内の除染に伴い発生した土壌や廃棄物等を最終処分までの間、安全安心に集中的に貯蔵する施設です。第2期工事双葉2工区についてご紹介しております。

工事概要	
工事名称	平成29年度中間貯蔵(双葉2工区)土壌貯蔵施設等工事
工事場所	福島県双葉郡双葉町地内
発注者	環境省 福島地方環境事務所
施工者	大成・日本国土・佐藤工業特定建設工事共同企業体
工期	2017年5月18日～2021年3月31日
主要工種	
【受入・分別処理工事】	【土壌貯蔵施設工事】
① 建設工事 一式	① 造成工 139,900m ³
② 受入・分別処理工事 一式 ・処理能力140t/h以上(稼働10h/日) ・処理対象物量 1,032,500t ・8,000Bq/kg以下	② 浸出水処理施設 一式
	③ 輸送工 737,500m ³
	④ 埋立工 477,600m ³

●受入・分別処理工事

仮置場等から輸送された大型土のう袋は、受入・分別施設にて大型土のう袋から中身を取り出し、必要に応じて改質処理して可燃物(草木等、大型土のう袋)、不燃物と土壌に分けます。



●位置関係と除去土壌等の輸送



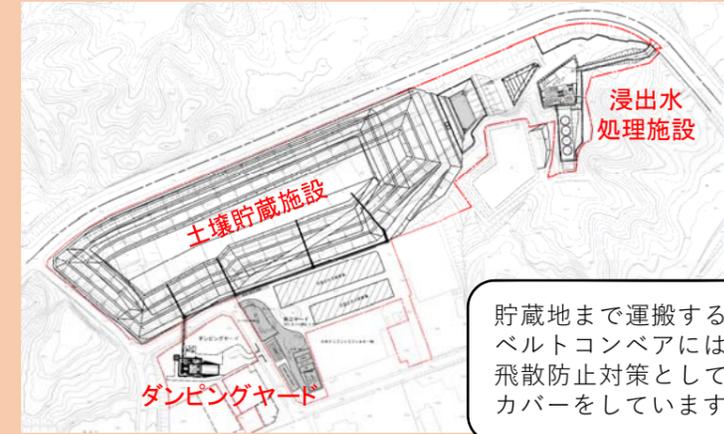
当工事では、除染実施区域のうち福島県内の北部の仮置場より、除去土壌等が収められた大型土のう袋を10tダンプトラックで中間貯蔵施設まで輸送しています。除去土壌等の輸送にあたり、輸送対象物の全数管理、飛散防止、悪臭防止、および輸送車両荷台からの水分の漏れ出し防止対策等適切な措置を講じています。



●土壌貯蔵施設工事

受入・分別施設で分別処理された土壌は、土壌貯蔵施設のダンピングヤードまで運搬され、そこでベルトコンベアに載せ替えて土壌貯蔵施設に貯蔵します。

土壌貯蔵施設は、二重の遮水シートにより土壌と接触した水が外部に流出しない構造となっており、土壌と接触した水は、専用の水処理施設で排水基準を満たすように処理して公共水域へ放流します。



貯蔵地まで運搬するベルトコンベアには、飛散防止対策としてカバーをしています。

